

令和5年9月 避難訓練事後講話

今日の避難訓練は「J アラート訓練」といって、たとえばミサイルが発射されて、近くに落ちるかもしれないことを知らせる警報の音を聞いたときに、どう行動すればよいかをやるものでした。

いつもと違うのは、みんなで校庭に避難したりしないことです。なぜなら、学校のような丈夫な建物の中のほうが安全だからです。

今日の訓練では、多くの皆さんが、校舎の中において、ヘルメットをかぶり、机の下に身を隠したと思うので、できることを何重にもやって、より安全な行動をとったわけですが、いつも同じようにできるわけではないことは、わかりますよね。

自分の教室にいなかった人は、ヘルメットがありませんでした。身を隠すものがなかった人もいるかもしれません。

それに、J アラートの警報はいつ鳴るかわかりません。学校の登校・下校の時かもしれません。友達と公園で遊んでいる時かもしれません。

そこで、だれでもどこでもできる「命を守る3動作 3つの動き」について、確かめておきます。

1 まず低く 2 頭を守り 3 動かない

これが基本です。この動作は、例えば大きな地震、竜巻が起きた時などにも大切になる動きです。

教室で、友達や先生ともたしかめておきましょう。